

令和5年度第1回豊見城市総合教育会議

日時：令和6年1月22日（月）

定例教育委員会終了後

場所：豊見城市役所4階第1会議室

発言者等	発言内容等
総務企画部長	<p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきどうもありがとうございます。令和5年度第1回豊見城市総合教育会議にご出席いただき誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます総務企画部長の内原といたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>初めに、資料の確認をしたいと思います。資料は、会議次第が1枚と令和6年度教育施策についての資料が1部となっております。確認のほどよろしくお願いいたします。大丈夫でしょうか。</p> <p>本会議は議事録をまとめることを目的に、ICレコーダーで録音をいたしますのでご了承をよろしくお願いいたします。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第3項において、本会議は地方公共団体の長が招集することになっておりますので、これより先の進行につきましては徳元市長のほうによろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、総合教育会議にご出席いただき誠に感謝申し上げます。また、日頃から教育行政に格別なるご尽力を賜りましたことありがとうございます。感謝申し上げます。田名委員においては、先ほど辞令交付式からも早速定例教育委員会と、それから総合教育会議と、立て続けにご参加いただきありがとうございます。これから、またひとつよろしくお願いいたします。それでは着座にて失礼いたします。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。議題（1）の令和6年度の教育施策についてです。事務局からの説明をお願いいたします。</p>
教育部長	<p>では教育のほうですね、今日お配りしている令和6年度教育施策について、各課担当課長のほうから説明をしてみたいと思います。では教育総務課のほうからよろしくお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>教育総務課の赤嶺です。では教育総務課のほうから説明させていただきます。</p>

	<p>市総合計画基本計画における施策分野、義務教育の充実の今後の取組方針、(2) 教育施設・設備等の充実に関する事業についてご説明いたします。事業名、情報教育補助員派遣事業。こちらのほうは一括交付金を活用した事業となっております。一次内示額1,282万2,000円です。概要といたしましては、情報教育指導補助員4名を小中学校へ派遣し、ICT機器を活用した授業をサポートすることで、児童生徒の情報活用の能力の向上を図ります。</p> <p>続いて事業名、電子黒板整備事業。こちらも一括交付金を活用した事業となっております。一次内示額5,729万8,000円となっております。概要といたしましては、静止画のみならず動画の配信による外部との交流やタブレット端末との共有など、視覚的な教材の活用幅を広げるため機能強化された電子黒板の整備を行います。また、教師用タブレットパソコンについても整備を行います。電子黒板については、77台の整備予定、教師用タブレットについては7台の整備予定となっております。</p> <p>続いて校務用コンピュータ整備事業、一次内示額5,527万5,000円となっております。概要につきましては、導入から5年以上経過しウィンドウズ11アップグレード対象外の教職員用パソコンを更新するために購入いたします。ノートパソコンの購入台数は250台の予定となっております。</p> <p>続いて学校版ネットワーク強靱化事業、一次内示額は1,868万8,000円となっております。概要といたしましては、教育用ネットワークの維持管理に必要な回線使用料、プロバイダ料金などの経費となっております。続いてG I G Aスクール整備事業、一次内示額725万8,000円となっております。概要といたしましては、G I G Aスクール運営維持に伴うW i - F i アクセスポイント保守管理、I C Tを活用した教育を推進するための著作物の利用円滑化と著作権者の利益保護に必要な著作物を無許承諾利用できるための経費となっております。これで教育総務課の令和6年度の教育施策についての説明は以上となります。</p>
市長	<p>それでは教育総務課からの説明がありましたが、委員の皆様のご意見、またご質問があれば受けたいと思っておりますがどうでしょうか。宮城委員、お願いします。</p>
宮城委員	<p>事業名、補助員派遣事業のところの概要、情報教育指導補助員4人を小中学校へ派遣というんですが、この4人の派遣の内訳と申しますか、派遣の予定というのはどのようになっていますか。</p>
教育総務課長	<p>1人当たり小中学校3校を巡回予定としておりますが、来年度1校増</p>

	えることにより、また校区替えを設定していきまして、今から振り分けを行う予定です。
宮城委員	これは中学校区を基本としてという考え方ですか。
教育総務課長	令和5年度につきましては、規模で分けております。人数です。なので令和6年度については小中学校の中学校区で分けられるような体制にできるかどうかについても、検討したいと思っております。
宮城委員	分かりました。
市長	よろしいですか。ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。 では続いて学校教育課より説明をお願いします。
学校教育課長	<p>学校教育課長、金城です。2ページから4ページまでお願いします。</p> <p>2ページの(1)教育プログラムの充実。事業名、外国人英語補助員配置事業でございます。一次内示額1,966万円でございます。概要、外国人であるALTを中学校へ派遣することにより、ネイティブスピーカーによる生の外国語を体験させるだけでなく、異文化を持つものとのコミュニケーションを通し外国語への関心、意欲を高める事業でございます。</p> <p>続きまして小学校英語活動講師派遣事業でございます。一次内示額3,722万9,000円でございます。概要です。小学校へJTE、日本人英語教師を派遣し、コミュニケーションの手段として英語に慣れ親しませるとともに、実際の授業においてコミュニケーションを図る楽しさを体験させる事業でございます。</p> <p>続きまして学力向上推進補助員配置事業、一次内示額4,843万9,000円でございます。概要、市内小中学校に教育の補助として学力向上推進補助員を配置し、学習の理解が遅れている児童生徒へのきめ細かい指導を行う事業でございます。</p> <p>続きまして事務管理経費の中の英語検定料等助成、一次内示額0となっておりますが、現在復活要求中でございます。内容、中学生に英語検定試験等の受験料を助成し、資格受験を通し、グローバルな場面にも自信を持てる人材の育成を図る事業でございます。</p> <p>続きまして小中学校国際交流事業、誤字ですが、予算要求額を一次内示額に修正願います。一次内示額172万4,000円でございます。概要、市内小中学校とアメリカンスクールの同年代の児童生徒が対面、オンラインを通して国際感覚を磨き、コミュニケーションを通して将来的に世界で活躍できる人材育成を図る事業でございます。</p>

3 ページをお願いします。(3) 学校給食の充実。事業名、学校給食運営事業、一次内示額 7 億674万4,000円でございます。概要、安全安心な学校給食を提供するため、施設の維持、給食の調理、食材の調達、給食費の徴収等の学校給食の運営を行う事業でございます。

続きまして学校給食センター整備等事業、一次内示額71万2,000円、令和6年度から令和7年度、債務負担行為額が1,829万3,000円となっております。概要、老朽化が課題となっている給食センターについて、現行の学校給食衛生管理基準に即した建て替えに向けた取組を進める事業でございます。

(5) 個に応じた支援体制の充実。事業名、就学援助補助事業、一次内示額8,533万7,000円。概要、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、義務教育に必要な教育費の一部を援助費として支給する。また特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する事業でございます。

続きまして適応指導教室学習支援配置事業、一次内示額713万2,000円でございます。概要、とよむ適応指導教室へ学習支援補助員を配置し、適応指導教室へ通う児童生徒の支援を行う事業でございます。

続きまして部活動指導員配置事業、一次内示額919万9,000円でございます。概要、各中学校に部活動外部指導員を配置し、部活動の適正な運営を図る事業でございます。

続きまして校内自立支援室事業、一次内示額713万2,000円でございます。概要、校内自立支援室に学習支援補助員を配置し、校内自立支援室を利用する生徒の個々の状況に応じた学習支援を行う事業でございます。

4 ページをお願いします。学習支援補助員配置事業、一次内示額713万2,000円でございます。概要、対象中学校に学習支援補助員を配置し、別室指導を要する生徒の状況に応じた教科指導等の支援を行う事業でございます。

次に特別支援教育支援員配置事業、一次内示額 1 億354万5,000円でございます。支援員を配置し、教員と連携の上特別な支援を要する子に対し、学校生活上の配慮や学習支援、健康、安全確保、周囲の子への障がい理解促進を図る事業でございます。

続きましてスクールソーシャルワーカー配置事業、一次内示額1,044万8,000円でございます。概要、児童生徒が生活の中で抱えているいろいろな問題の解決を図るため、中学校区ごとにスクールソーシャルワーカーを配置し福祉関係部門につなぐなど、課題解決を図る事業ござい

	<p>ます。</p> <p>続きまして医療的ケアのための看護師配置事業、一次内示額1,064万8,000円でございます。概要、日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒が通学する市内小中学校に看護師を配置することにより、児童生徒等に係る学習環境を整備し、当該児童生徒の教育の充実を図る事業でございます。</p> <p>続きまして生理の公平事業、一次内示額125万5,000円でございます。概要、生理用品の用意に困難を抱える児童生徒に対し生理用ナプキン等無償で提供し、安全安心な学校生活を支援する事業でございます。</p> <p>次に事務管理経費の中のスクールロイヤー、一次内示額66万円でございます。概要、子ども同士の問題、子どもと教師の問題、保護者と教師の問題などに対して、子どもの最善の利益を念頭に学校を法的な観点から支援する事業でございます。学校教育課の事業説明は以上となります。</p>
市長	<p>ありがとうございました。ただいまの内容について、委員からのご意見、ご質問等あればお願いいたします。質問、どうぞ。</p>
田名委員	<p>質問というか、よく分からないのでお願いしたいんですけども、一次内示額というのは何ですか。</p>
学校教育課長	<p>現在、予算要求中でございます。予算の一次内示が今出ている状態でございます。現時点です。先ほど復活要求というのが1つあったと思うんですけども、それがつくるとまた最終内示額という表現に変わってくる。議会を通りましたら予算が決まっていくというような流れで、今現段階では一次内示が出ているという状況でございます。</p>
田名委員	<p>今ある内容が、令和5年よりもほとんど上がっていますよね。それは正常と言えば正常なんですか。</p>
学校教育課長	<p>我々の事業は、ほとんど人件費に係る事業が多い部署でございますが、人件費が上がっていることがありますのでその分上がっているというのと、あと1つは豊崎中学校が次年度開校予定となります。その分も人員増員分というところが大きい部分です。</p>
田名委員	<p>では何らかの問題の金額ではないということですね。分かりました。ありがとうございます。</p>
市長	<p>いいですか、どうぞ。備瀬委員、お願いします。</p>
備瀬委員	<p>確認です。金城課長が小中学校国際交流事業、一次内示が124万4,000円と説明しておりましたけれども、そこには予算要求額が172万4,000円とありますけれども、これは予算要求額、一次内示、どちらが正しいん</p>

	でしょうか。
学校教育課長	すみません。こちら誤字でございます。一次内示額が正しい表記でございます。
備瀬委員	了解です。
市長	宮城委員、どうぞ。
宮城委員	同行支援員であったりスクールサポートスタッフなどの項目がないんですが、これはどのように理解したらよろしいでしょうか。
市長	金城課長、どうぞ。
学校教育課長	主な事業見させたところでございます同行支援員については例年どおりの額となっております。今回、主な事業を抜いて紹介する他は省かせていただいております。スクールサポートスタッフについては教育総務課の事業となりますので、我々のところで記載はございません。
教育総務課長	スクールサポートスタッフについては教育総務課のほうにあるんですが、教育施設設備等の充実に関係する事業のみを本日説明させていただいたので、スクールサポートの件についてはご紹介していません。
宮城委員	これは引き続きあるということで理解してよろしいですか。
教育総務課長	はい。
宮城委員	分かりました。
市長	ほかにございますか。備瀬委員、どうぞ
備瀬委員	運動部指導員配置事業でかなり増額されていますけれども、豊崎中学校の増加分を、ほかと合わせているんですけれども、令和6年度は全体で何人ぐらい予定をしているんでしょうか。
学校教育課長	予算額で示されている人数については、豊崎中学校を含む4中学校に3名ずつ、合計12名の予算計上となっております。
備瀬委員	1校3人というと、大体1つの学校に十幾つかの部があるので、かなりまだまだ少ないなど、働き方改革からしても、その何倍も今後は要求していかないといけないのかと思いますけれども、その辺のほうは少し気になる場所ですけれども、徐々に徐々にということで、年次的に増やしていくのかということで要望として受け止めておいてほしいと思います。
学校教育課長	分かりました。
市長	ほかにございますでしょうか。宮城委員、どうぞ。
宮城委員	事務管理経費、英語検定料等助成の部分です。一次内示が0で、それから復活要求中だということなんですが、これに合わせて漢検のほうのお話というのは、ここには予算要求の時点では上がっていませんでした。

	しょうか。
市長	金城課長、どうぞ。
学校教育課長	これまで各種検定についての助成等は実施できていない状況でございますが、まずは本市においては英語検定などというところで、英語に関する各種試験についての助成からまずやっていきたいというところで要求している部分がございます。また今後については、再度新年度、さらにそれ以降ですね、ほかの資格分についても検討できたらと考えているところでございます。
宮城委員	ぜひ漢検、数検等、受験者は多いかと思っておりますので、そこら辺の支援等ができていくとありがたいかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
市長	ほかにありますか。どうぞ。
下條委員	小中学校国際交流事業のもので、アメリカンスクールというのはどこのアメリカンスクールになりますか。
市長	金城課長、どうぞ。
学校教育課長	現在、総領事館を通して紹介いただいているんですけども、基地内にあるアメリカンスクールとの交流を今検討しておりまして、その内容となっております。
下條委員	どういった内容の感じの交流、交流の内容を。
学校教育課長	ここに書いているんですけども、まずオンラインの授業の中での交流、そして豊見城の学校で受けて出向くと。向こうからやってくる交流、そしてうちからまた向こうの学校に行つての交流、そういった対面の交流を計画しているところでございます。
下條委員	オンラインも基地の中の、海外ではなくて基地内の学校ですか。何かほかの市町村とかでは、民間の団体を活用したりしているところもあると思うんですけども、それは考えていないということになりますか。
学校教育課長	今回、予算要求の中ではその両方とも要求しているところではございましたけれども、まず今ここに上がっているものがアメリカンスクールとの交流というところでは、バスの送迎だけの予算になっております。民間の委託費というのはまた別途かかったりするということと、できないわけではないんですけども、海外となるとどうしても時差が出てくるというところもございます。ここでは時差がないので、オンラインも午前中同士でやったりとかということで、まずはこちらからがやりやすいのではないかとこのところで、予算折衝の中ではこの部分の予算からついたという感じで、一次内示ではついたという感じになります。

下條委員	<p>何かいろんな公立学校ですよ、公立の小中が交流するということで、やっぱりいろんな考え方の方が通っているところで、やっぱり政治とか軍事とかと関わってくるということもあるので、幅広く検討していただければと思います。民間の団体というのも、県内で行われているキャンプとか、例えばこの間お話がありました南城市ということで、取り上げているということだったんですけども、南城市も民間の団体と今後つながって、英語教育を進めていくということになっておりまして、今回北中城、中城、大宜味、東村とかでやるとか、いろんな市町村のほか、民間と連携して英語教育を進めていますので、そちらも併せてこういった、ここだけじゃなくていろんな団体も候補に入れて検討していただければ。理由はですね、質の高い教育、例えば英語指導者の資格であるTESOLという資格がございます。TESOLとあとMaster、修士課程を持っている英語の教授に卓越した方々が指導者となっておりますので、高い英語教育が期待できるのかと思ひまして、お話をさせていただきました。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。金城課長、どうぞ。</p>
学校教育課長	<p>民間団体については、我々のほうにも営業が来ております。今後、またその予算獲得にも働きかけたいと考えているところではございます。総領事館を通しての基地との交流については、英語教育あるいは国際交流の観点での推薦をお願いしているところでございますので、政治的、軍事的なところではないというふうに認識しております。</p>
市長	<p>ほかにございますでしょうか。宮城委員、どうぞ。</p>
宮城委員	<p>校内自立支援室事業のところ、恐らく何年か前までは各学校が同じ学校内の職員で賄っていた部分だったのかなと記憶しているので、このように学習支援補助員を配置して利用する、児童生徒の学習支援を行うという事業というのは大きい価値があるのかなと思っておりますので、ぜひ有効にというか、有意義な支援室の活動ができるとありがたいなと思っておりますので、ぜひこの一次内示額が通りますように期待したいと思っております。</p>
市長	<p>ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>では次に移りたいと思っております。学校施設課よりご説明をお願いいたします。</p>
学校施設課長	<p>学校施設課の石川です。</p> <p>それでは資料は5ページになります。義務教育の充実。(2) 教育施</p>

	<p>設・設備の充実として、まず体育館・武道場天井落下防止対策事業です。一次内示額として1,373万4,000円の事業費となっております。事業概要としましては、平成27年度に作成した耐震点検報告書に基づき市内小中学校の体育館などについて、天井等の非構造部材の落下防止対策を行います。令和6年度につきましては、とよみ小学校の体育館のバスケットボールなどの落下防止対策工事及び伊良波小学校、伊良波中学校の設計業務を行ってまいります。</p> <p>次に、小中学校長寿命化事業（単独事業）です。一次内示額として6,004万9,000円の事業費となっております。事業概要としましては、豊見城市立学校施設長寿命化計画に基づき施設の適切な維持管理及び長寿命化を図るため、不具合が生じている施設について改修や機能強化を行ってまいります。令和6年度につきましては、とよみ小学校の運動場の整備工事及び豊見城小学校の運動場の整備設計業務を行ってまいります。</p> <p>次に小・中学校省エネ・再エネ設備導入推進事業として、豊見城市管財課のほうで中心となって行っている豊見城市公有財産活用民間活力導入制度で事業採択された2つの事業を進めてまいります。1つ目が、学校施設LED化推進事業です。一次内示額としましては1億6,225万7,000円となっております。事業概要としましては、学校施設の省エネ・再エネ設備導入を推進するため既存照明器具を生かしたランプ交換によるLED化を図るものとなっております。対象施設としては、LED照明化されていない7小学校2中学校となっております。</p> <p>2つ目につきましては、かりーる一ふ（太陽光第三者所有モデル）事業となっております。事業概要としましては、学校施設の屋上に太陽光発電設備及び蓄電池を沖縄電力が所有設置し、学校は発電された電気を自家消費して一定の料金単価で購入する事業となっております。太陽光設備は沖電グループの会社の所有となっていることから、市の負担、予算措置はありません。対象施設としましては上田小学校、ゆたか小学校、豊見城中学校となっております。学校施設課からは以上となります。</p>
市長	<p>ただいまの内容について、ご意見、ご質問等あればお願いいたします。大丈夫そうですか。ありがとうございます。特にないようですので、次にまいりたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>続いて生涯学習振興課よりご説明お願いいたします。</p>
生涯学習振興課長	<p>生涯学習振興課の大城から説明いたします。令和6年度の主な事業を</p>

説明いたします。6ページから10ページまでお願いいたします。予算額は全て一次内示額となります。よろしくお願いいたします。

まず生涯学習社会の確立の施策分野1、生涯学習のまちづくりにつきましては、(1)豊寿大学の予算額が30万9,000円となります。60歳以上が対象で受講期間が2年間となり、令和4年度、令和5年度につきましては34人が受講生として参加し、様々な学習をしております。

次に(2)全沖縄子どもエイサーまつり73万円につきましては、市子ども会が主催者となり、県内各地の子ども会の参加による全沖縄子どもエイサーまつりをとみぐすく祭りと同日に行う予定にしております。

次に(3)生涯学習フェスティバル55万3,000円につきましては、日頃の生涯学習活動の発表の場として、毎年2月中旬に開催しております。今年度も2月17日土曜日、18日日曜日の2日間開催に向けて鋭意取り組んでいるところでございます。

次に(4)図書館費の事務管理経費として1億4,414万4,000円を計上しております。中央図書館は令和3年度に策定した豊見城市図書館基本計画により、市民に愛される図書館を目指して各種重点施策を中心に様々な施策を展開しております。令和5年度から学校図書館と連携を図ることにより、児童生徒が中央図書館に来館せずとも図書館図書資料を検索、予約、貸出しできるような環境を整えております。

次のページをお開きください。(5)電子図書館整備事業336万円でございますが、電子図書館は中央公民館の利用カードがあれば、誰でもいつでもスマホやパソコンなど、インターネット上で電子書籍の貸出し、返却ができるサービスです。令和5年3月時点では3,465コンテンツを整理しております。令和6年度以降も市民ニーズを的確に捉え、幅広い世代へ選書を行ってまいりたいと考えております。

次に3、生涯学習活動拠点の整備・充実分野でございます。(1)公民館費として3,963万7,000円を計上しております。中央公民館では一般講座や各種イベント、研修、サークル団体の活動を通し、各字公民館や集会所での移動公民講座を開催するなど、生涯学習としての場の提供や学習環境の確保に努めております。

次に4、学校区域を拠点としたコミュニティづくりの分野でございます。(1)放課後子ども教室推進事業494万6,000円につきましては、放課後や夏休みなどに小学生の余裕教室を活用して、安全安心な子どもの活動拠点を設け、地域の方々との交流活動など機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の場で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。

次に（２）地域学校協働活動推進事業467万1,000円につきましては、学校が教育課程の中などで必要とする活動について、地域コーディネーターが学校と地域の調整役となり、地域住民が持つ多様な経験や技能を活用し、ボランティアとして学校へ派遣することで教育活動の支援を行う事業です。

次に（３）学校施設開放管理委託事業として276万7,000円を計上しております。市民の健康増進、スポーツ振興を図るため、市内小中学校の体育館等をスポーツ団体や地域住民に幅広く開放しております。

次のページをお願いいたします。５、家庭教育・地域協力の向上の分野でございます。（１）社会教育活動のための各種団体の育成の予算として309万4,000円を計上しております。子ども会から二十歳の集い実行委員会までの社会教育団体にそれぞれ補助金を交付するものでございます。

次に（２）家庭教育支援事業の予算として15万2,000円を計上しております。子どもたちが健やかに育つために必要不可欠なものであるため、全ての親が家庭教育に関する学習ができるような家庭教育力の向上につながる取組を推進しております。

次に、県外・国際交流の活性化の分野でございます。まず１、姉妹都市を軸とする県外交流の活性化の分野の（１）姉妹都市交流事業533万円ですが、姉妹都市の宮崎県美郷（「みさと」と読みます。）町及び高千穂町、そして高知県土佐清水市の子どもたちとの交流につきましては、市子ども会やスポーツ少年団交流を継続的に実施できているところで

す。

次のページをお願いいたします。（２）ジュニアリーダー県外研修補助金70万9,000円につきましては、宮崎県高千穂町へ本市のジュニアリーダーを派遣して高千穂町の小学５年生、６年生にエイサー指導を行うことで、その県外研修の経験から協調性やリーダーとしての自覚を育て、子ども会の育成者としての役割を担える人材を育てることを目的としております。

（３）少年平和大使の37万3,000円につきましては、本市の中学生が広島県大竹市の中学生と平和交流を隔年ごとに実施しております。来年度は大竹市より受入れを行い、交換交流を行う予定となっております。

次に国際交流推進の分野でございますが、（１）市青少年国際交流事業1,511万6,000円につきましては、本市の中学生を海外ハワイ州に派遣し、教育、文化、歴史、産業等の視察学習や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して国際的視野を広げるとともに、友情を深

	<p>めながら国際化社会に対応し得る青少年の育成を目的としております。</p> <p>次に、スポーツ・レクリエーションの振興の施策の分野でございます。1、多彩なスポーツ事業の実施の分野につきましては、まず（1）保健体育総務費で事務管理経費として1,831万3,000円を計上しております。子どもから高齢者までの各世代間でスポーツ教室やスポーツ大会などの企画を運営し、生涯スポーツ推進の競技力向上に努めていきたいと考えております。</p> <p>次に（2）体育施設管理経費としての8,479万6,000円を計上しております。市民が安全に体育施設を利用していただけるように施設の維持管理や修繕を行い、スポーツを楽しめる環境を提供してまいりたいと考えております。</p> <p>次に（3）児童生徒派遣費補助事業1,094万4,000円でございますが、本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会に出場する場合に必要な経費の一部を助成する事業となっております。</p> <p>次に2、スポーツ関連団体と指導者の育成支援の分野でございますが、（1）スポーツ関連団体への支援補助金が1,201万5,000円でございますが、体育協会やスポーツ少年団への運営補助金を交付してまいります。</p> <p>次に3、スポーツによる地域活性化の分野でございます。（1）サッカーキャンプ等受入推進事業の1,430万円でございますが、プロサッカーキャンプの受入れに必要な総合公園陸上競技場の芝生環境の継続的な維持管理を行ってまいります。</p> <p>最後に新規事業といたしまして（2）デフバレー世界選手権大会事業に948万5,000円を計上しております。デフバレーボール世界選手権2024沖縄豊見城大会が、令和6年6月に開催される予定となっております。スポーツレクリエーションの振興及び観光振興を図る機会となっております。この機会を活性化するため、本市は実行委員会へ負担金の交付を行い開催に携わってまいります。長くなりましたが、以上で生涯学習振興課の説明を終わりたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>ただいまの内容について、ご意見、ご質問等あればお願いをいたします。多岐にわたって長いですが、ぜひお願いします。宮城委員、お願いします。</p>
宮城委員	<p>（4）図書館費のところの四角の中ですね、令和5年度からは学校図書館へのシステム連携を図りというところがあり、環境を整えますとい</p>

	う表現になっているんですが、令和5年度からそのシステムについては動き始めていて、令和6年度も継続してその環境整備をしていくということの理解でよろしいでしょうか。
市長	大城課長、どうぞ。
生涯学習振興課長	令和5年度から学校図書館において、書かれているとおりに連携を図っているところでございます。引き続き令和6年度も環境整備を整えてまいります。現在赤帽を利用いたしまして、スムーズに配送、配達ができるように今取り組んでおります。
宮城委員	ありがとうございます。
市長	はい、備瀬委員どうぞ。
備瀬委員	スポーツ・レクリエーションの振興ということで、保健体育総務費が令和5年度の半額近く1,831万円、その次のページのスポーツ関連団体への支援も相当減額になっていきますけれども、これは大丈夫でしょうか。
市長	大城課長、どうぞ。
生涯学習振興課長	お答えいたします。減額になっている理由につきましましては、市体育協会への補助金が減額となっております。今年度におきましては先島開催が宮古、石垣で行われているということで、1,500万円余りの体育協会への補助金となっております。次年度は先島開催がございませんので、本島開催ということで減額ということになっております。
市長	よろしいですか。下條委員、どうぞ。
下條委員	放課後子ども教室推進事業なんですけれども、こちらも子どもたち、放課後や長期休暇中に受け入れる子どもたちというのは全員が対象になりますか、それとも人数制限とかがあるのでしょうか。
市長	大城課長、どうぞ。
生涯学習振興課長	空き教室の状況によって人数制限がございます。どうしても教室のキャパ、広さによって対応人数が、各小学校対応人数が異なりますので、それに基づきまして対応している状況でございます。
下條委員	できるだけ多くの子どもたちが利用できるようにしていただければと思います。
生涯学習振興課長	引き続き学校側と協議いたしまして、いかに多くの児童が参加できるか、検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。
市長	ほかにもございますか。宮城議員、どうぞ。
宮城委員	放課後子ども教室推進事業の中に、例えば真壁コミュニティセンターのような活動も入っていますか。

市長	大城課長。
生涯学習振興課長	真壁コミュニティセンターの活動というのは入っておりません。小学校についての事業となっております。小学校単位です。
宮城委員	<p>この真壁コミュニティセンターでかなり子どもたちがいろんな活動をしている様子を見るんですが、これはどこに、どの部署でどういう形になっていますか。ごめんなさい。ここでするような質問ではないですね、取り下げます。課が違うわけですよ。分かりました。これはまた後で確認させてください。</p> <p>あと1点。家庭教育支援事業の説明の部分なんですが、恐らく今日配られたこれもこの事業の一環だと思いますが、ほかの四角の中の説明を見ると、おおよそ見えてくるものがあるんですけども。ここの家庭教育について、例えば全ての親が家庭教育に関する学習ができるよう家庭教育力の向上につながる取組を推進しますとありますけれども、とても家庭教育についていろいろ進めるといのが難しいところもあるかと思いはするんですが、その家庭教育力の向上につながる取組、例えば今ここでやる研修会もそうなんですが、ここにつながるこういう取組を推進しますという文言があると、もっと分かりやすいかと私自身思いました。例えばつながる研修等の取組とか、あるいは研修以外にも家庭教育の向上につながる取組があれば、それを文言としていたほうが受ける側は分かりやすいかと。なぜならその上と下を見ていただくと分かるように、詳しく述べられていますよね。それに比べると家庭教育支援事業の中身自身をもう少し説明を加えてもいいのかなと。今、これが届いていたので、これもその1つかなと理解をしたんですけども。もしそれができるとしたら、それがあってもいいかなと思いました。</p>
生涯学習振興課長	宮城委員、ご指摘ありがとうございます。次年度につきましては家庭教育支援事業に家庭教育推進委員の方々の意見も交えながら、どのようにこの家庭教育が推進できるか、支援できるかということを取り組んでまいりたいと思っております。そのような文言につきましては、また引き続き検討してまいりたいと思っております。ありがとうございます。
市長	下條委員、どうぞ。
下條委員	国際交流の市青少年国際交流事業で海外ということで派遣していくのを、海外はもうアメリカのハワイ州というふうに決定しているのでしょうか。
市長	大城課長、どうぞ。
生涯学習振興課長	こちらの事業に関しましては、一括交付金を活用しているところでご

	<p>ざいます。そちらについては、県外派遣ということでハワイ州ということで事業については行っているところがございます。</p>
下條委員	<p>ハワイ州になっている理由とかありますか。</p>
生涯学習振興課長	<p>理由につきましては、本市におかれましては豊見城村人会の方々もいるということで、それにつきましては昔からお付き合いがございますので、村人会のご協力を得ながら国際交流をしていきたいと考えております。</p>
下條委員	<p>少し物価がハワイは高いから、何か理由があるのかなど。分かりました。</p>
市長	<p>そのほかにもございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>では次にまいりたいと思います。では最後に文化課よりご説明をお願いします。</p>
文化課長	<p>文化課、浜本でございます。</p> <p>お手元の資料の11ページをご覧ください。施策分野といたしましては、地域文化の振興となります。(2) 歴史的・文化的資源の保護・整備活用。事業名として、埋蔵文化財確認調査事業、こちらは文化庁の補助事業となっております。一次内示額が2,124万3,000円でございます。事業内容といたしましては、令和4年度と令和5年度に調査を実施した豊見城グスクの調査結果を取りまとめた調査報告書を作成いたします。</p> <p>次に(3)文化事業の推進と関連施設の充実。事業名としてデジタル博物館事業、こちらは一括交付金事業となっております。一次内示額が4,273万1,000円でございます。事業内容といたしましては、デジタル博物館の拡充・高度化、普及と市民協働型歴史・記憶継承活動を推進し、市民、学校、観光客などに豊見城市の魅力を発信し、地域文化の振興に寄与するための事業となっております。</p> <p>次に(4)市史の調査と記録。事業名が豊見城市史第5巻「社会と文化・教育編」編集事業でございます。こちらは一次内示額が1,183万1,000円でございます。事業内容としましては、戦前から続く教育、文化、産業などの歴史や終戦直後の社会の歩みとその後の本土復帰、急速な都市化などを経験した豊見城の歴史を、多角的な視点から調査、資料収集を行い豊見城独自の変化のありようを明らかにすることを目的に本巻を発刊し、後世に伝えるものとなります。この5巻につきましては、平成28年度から調査、資料収集を行っております。なお発刊につきましては、令和7年度発刊となっております。文化課の説明は以上でございます。</p>

	ます。よろしくお願いいたします。
市長	<p>ありがとうございます。ただいまの内容について、ご意見、ご質問あればお願いします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは貴重なご意見、ご質問ありがとうございました。特にないようでございますので、議題（１）についてはこれで終了したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>次に議題（２）のその他でございます。報告事項等ございましたら、よろしくお願いいたします。執行部からありますか。特にないですか。委員の皆様、よろしいでしょうか。ありがとうございます。では特にないようでございますので、議題（２）のその他も終了したいと思います。</p> <p>本会議での議題は以上でございますが、特に特別ないですね。ありがとうございます。それでは会議は以上となります。</p> <p>令和５年度第１回豊見城市総合教育会議を閉会したいと思います。皆様、大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。</p>